

市長の施政方針に対する質疑

Q 高齢者ドライバーの交通事故が増加していることを受け、運転免許証の自主返納者を対象にした支援事業について伺う。

A 高齢者の交通事故防止と公共交通の利用促進を目的に、運転免許証を有効期限内に自主返納された65歳以上の市民を対象に、市内を運行する路線バスの回数券2万円分を交付するものです。

Q 「民間企業消防協力隊補助制度」の創設目的と計画について伺う。

A 自主防災組織の拡充を図るとともに、民間企業と近隣住民との共助による連携体制を構築することを目的とし、平成31年度までに5団体を立ち上げる計画です。平成29年度は1団体の立ち上げを予定しており、その団体が防災資器材を購入するための補助金（10万円）を予算計上しております。

Q 健康づくりの拠点として旧穴倉小学校をどのように活用するのか。

A 保健センター業務をはじめ、市民活動や地域コミュニティの拠点など複数の目的を有する公共施設としての活用を中心に調整してまいります。平成29年度は、地域の関係者など市民の方々のご意見もいただきながら、具体的な活用形態について検討し、基本設計まで進める予定です。

Q 土浦千代田工業団地雨水管路調査の必要性についてどのように考えているのか。

A 土浦千代田工業団地は昭和41年に整備されてから50年以上が経過しており、陥没事故等の防止や大雨で冠水する場所でもあることから、雨水管路内の状況を調査するものです。

Q 本市の地域内消費の弱さについて、要因をどのように分析しているのか。

A 近隣市には多くの大規模小売店が立地しており、それらに向かう消費を市内に取り戻すことは容易なことではありませんが、例えば生鮮食料品や飲食サービスなど市民の生活に密着した消費については、大規模店との差別化を図ることは可能であり、今後市内での消費拡大の余地は十分にあると考えております。

Q 民間保育所への支援や公立保育所再編のスケジュールについて伺う。

A 現在、さくら保育所の平成29年度末での閉所に向け、その受け皿の確保に努めているところです。

民間事業者からは増設や定員枠の拡大により対応するとの意向があり、市としましては、施設整備の財政的な支援や保育士の確保に向けたソフト面を支援し、多様な保育ニーズに応えてまいります。